



# 2023年度こども霞が関見学デー

特定非営利活動法人全国検定振興機構加盟団体による  
「検定試験体験プログラム」報告書



特定非営利活動法人  
全国検定振興機構

## 目 次

1. 検定試験体験プログラム実施概要	P2
2. 運営体制	P3
3. ブース出展団体 企画内容	P4
4. 検定試験体験プログラム	P5
5. オンライン特設ページ	P7
6. 参加者アンケート	P8
7. 参加者アンケート結果	P9

### 参 考

#### 令和5年度「こども霞が関見学デー」について

「こども霞が関見学デー」は、文部科学省をはじめとした霞が関等に所在する各府省庁等が連携し、子供たちを対象に業務説明や職場見学等を行うことにより、子供たちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とし、親子のふれあいを深めることを目的とする取り組みです。

- ・対象：小・中学生・幼児等（原則として保護者同伴）
- ・期間：令和5年8月2日（水曜日）・3日（木曜日）
- ・内容：各府省庁等の特色を生かし、子供たちを対象に広く社会を知る様々なプログラムを設け、一斉に「こども霞が関見学デー」として実施します。  
オンラインプログラムも実施します。

#### <参加府省庁等>

内閣官房、人事院、内閣府、宮内庁、公正取引委員会、警察庁、個人情報保護委員会、金融庁、消費者庁、デジタル庁、復興庁、総務省、法務省、外務省、財務省、国税庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、特許庁、国土交通省、気象庁、環境省、防衛省、会計検査院、国立国会図書館。

# 1. 検定試験体験プログラム実施概要

- 日 時：2023年8月2日（水）・8月3日（木）10時～16時
- 場 所：文部科学省東館3F
  - 1特別会議室：検定試験体験ブース、駄菓子屋ブース
  - 2特別会議室：保護者待機室、検定試験のポスター掲示
- 目 的：
  - ・検定試験の社会的活用促進のため、広く一般来場者に検定試験について知ってもらい、関心を持ってもらう。
  - ・検定業界一丸となって業界を盛り上げる。
- 参加団体
  - 体験ブース出展：文科省後援名義取得検定を実施する当機構加盟 8 団体
  - ポスター掲示：体験ブース出展 8 団体に加え、当機構加盟 2 団体
- 企画内容
  - 子ども向けの模擬検定試験体験や実技試験の体験を提供し、検定試験の紹介を行う。だがしや楽校の仕組みを導入し、検定体験と買い物体験を通して、子どもたち自分で考えて何かを決める体験を提供する。
  - 検定試験体験特設ページを作成し、検定試験の社会的活用を促進する取組の一環として、社会においてどのような活用が行われているのか等を動画で紹介する。
- 運営組織
  - 主 管 文部科学省 総合教育政策局 生涯学習推進課
  - 主催団体 特定非営利活動法人 全国検定振興機構
  - 協力団体 学校法人 香川栄養学園
  - 公益社団法人 色彩検定協会
  - 特定非営利活動法人 世界遺産アカデミー
  - 公益財団法人 日本英語検定協会
  - 特定非営利活動法人 日本語検定委員会
  - 公益財団法人 日本数学検定協会
  - 日本情報処理検定協会
  - 一般財団法人 日本こころ財団
  - 株式会社 ODKソリューションズ（ポスター掲示）
  - 一般社団法人 日本栄養検定協会（ポスター掲示）

## 2. 運営体制



主催（事務局）		
総合責任者	吉田 博彦	特定非営利活動法人 全国検定振興機構 理事長
統括責任者	山本 瑞穂	特定非営利活動法人 全国検定振興機構 事務局
統括責任者	牟田 衆平	特定非営利活動法人 全国検定振興機構 事務局
統括責任者	宮城由美子	特定非営利活動法人 全国検定振興機構 事務局
協力団体（団体名50音順）		
ブース責任者	片岡 玲子	学校法人 香川栄養学園
ブース責任者	山中 雄市	公益社団法人 色彩検定協会
ブース責任者	仙波 梢	特定非営利活動法人 世界遺産アカデミー
ブース責任者	板津 敏	公益財団法人 日本英語検定協会
ブース責任者	砂田 大輔	特定非営利活動法人 日本語検定委員会
ブース責任者	木村 翔太	一般財団法人 日本こころ財団
ブース責任者	長村 清高	日本情報処理検定協会
ブース責任者	登石 明紀	公益財団法人 日本数学検定協会
ポスター掲示団体	柿澤 真理奈	株式会社 ODKソリューションズ
ポスター掲示団体	松崎 恵理	一般社団法人 日本栄養検定協会
だがしや楽校責任者	岩間 文孝	特定非営利活動法人 教育支援協会南関東

### 3. ブース出展団体 企画内容



	法人名	出展内容		
		出展内容	幼児対応	配布物
1	学校法人 香川栄養学園	家庭料理Q&A ～食のスペシャリスト を目指そう	ぬりえ	
2	公益社団法人 色彩検定協会	ペーパークロマトグ ラフィアートを作っ てみよう！		体験内容について の詳細冊子
3	特定非営利活動法人 世界遺産アカデミー	世界遺産の前で記念 写真を撮ろう！	世界遺産クイズに挑 戦しよう！	
4	公益財団法人 日本英語検定協会	「実用英語技能検 定」（抜粋版）に チャレンジ！	「英検Jr.」にチャレ ンジ！	各種パンフレッ ト・検定案内チラ シの配布
5	特定非営利活動法人 日本語検定委員会	「日本語検定」に チャレンジしよう！		日本語検定パンフ レット・機関紙等
6	公益財団法人 日本数学検定協会	「算数検定」にチャ レンジしよう！	「かず・かたち検 定」の模擬検定	数検の過去問題
7	日本情報処理 検定協会	キーボード入力を体 験しよう！（小中学 生向け）		検定試験の紹介と パンフレット
8	一般財団法人 日本こころ財団	トリックアートで心 理学にふれてみよ う！（錯視体験）		

## 4. 検定試験体験プログラム

### プログラムの概要

- ① 来場した子どもに「検定体験パスポート」を配布する。
- ② 各体験ブースで検定の体験をすると、体験修了の証としてシールがもらえる
- ③ 獲得したシールをパスポートに貼ることで、自分の体験を形として残せる。
- ④ 集めたシールの枚数に応じて、引換所でエコマネーに交換し、エコマネーを使って会場内に設置された「だがしや」で買い物ができる。

### プログラムのポイント

- ✓ 「検定体験パスポート」を配布することで、いろいろな検定を体験したいと思うきっかけになり、体験したことを形として残すことができる
- ✓ 「だがしや楽校」を導入することで、子どもが体験に取り組む動機を与え、企画全体としての統一感を演出できる



「検定体験パスポート」表紙・中面イメージ

### だがしや楽校について

だがしや楽校は、子どもも大人も一緒になって気軽に「趣味・特技遊び・学び・作品」などを「見せ（店）」あうお祭り形式のイベントである。

本プログラムでは、NPO法人教育支援協会南関東の協力のもと、会場内に「だがしや」を設置し、90種類以上の駄菓子、駄玩具を用意した。



### 子どもたちの自立性を育みます

プログラムに参加した子どもたちは、会場にある様々な検定の中から自分の好きなもの、得意なものを選んで体験します。子どもたちは頑張ったご褒美としてエコマネーをもらい、そのエコマネーで「何を買おうか」と悩み、考え、自分で決めて買い物をします。

検定試験体験から買い物体験までの一連の流れを提供することで、参加する子どもたちが楽しく学びながら、自分で考えて物事を決められるようになることをめざします。

## 4. 検定試験体験プログラム

### プログラムの成果

参加人数

1156人

当プログラムに参加した子どもの総数

参加者満足度

94%

プログラムを良かったと感じた参加者の割合

体験シール発行枚数

4329枚

検定体験で発行したシールの枚数

### 参加者の声



小1 保護者

いろいろな検定の体験とても良いですね。  
こういうイベントがもっと近くの施設であると嬉しい。  
いろいろ受けたいし、勉強の意欲向上に繋がりそうです。



小3 保護者

やった分だけマネーに交換して、駄菓子が買える  
仕組みが面白かった。

思いがけず子ども  
が得意なことがわ  
かってよかった。



小1 保護者

クイズは100点になるまで何度でも解けて面白いし、  
作る系は何度作っても楽しいので体験を通して楽し  
める空間がいいと思いました。



中学生 女子



小2 保護者

検定への  
ハードルが  
下がった！

こんなに多くの種類の検定がある  
と知れて良かった。小さな子から  
大人までできるのはとても良い。



小4 保護者



小1 保護者

上手くできなくて悔しかったり、はなまるをもらって喜  
んだり、色々なことに挑戦できて良いプログラムでした。

「検定体験プログラム参加者アンケート」より抜粋

## 5. オンライン特設ページ

### オンライン特設ページ

期間中に来場できない子どもたちにも広く社会を知る機会を提供するために、オンライン企画として検定試験体験プログラムの特設ページを期間限定で公開。

特設ページでは当機構の加盟団体の協力のもと、子ども向けの模擬検定体験や検定試験の取組みを紹介する動画、合格者の声などを掲載した。

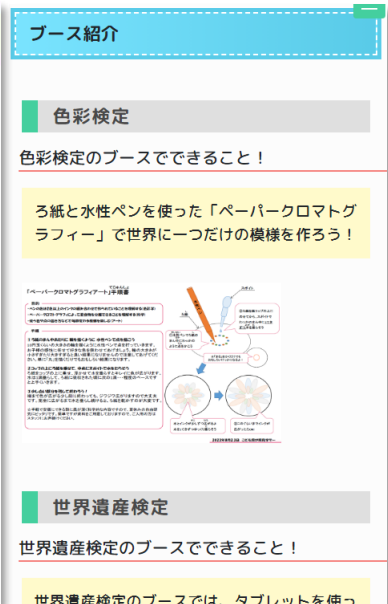
#### ○オンライン特設ページ

タイトル：「2023年こども霞が関見学デー  
検定体験プログラム」

公開期間：8月1日（火）～8月31日（木）

掲載内容：

- ① WEB検定試験体験
- ② 検定紹介動画
- ③ ブースでの体験紹介
- ④ 合格者の声





## 6. 参加者アンケート

### 参加者アンケート

- ✓ 会場内にアンケート回答用の二次元コードを掲示し、参加した子どもの引率者を対象に参加者アンケートを実施した。
- ✓ アンケートに回答してもらった参加者への特典として、「だがしや」で使えるエコマネーを1枚プレゼントすることで、アンケートの回収率アップを図った。
- ✓ 結果として2日間で、363件の回答が得られた。（アンケート結果は次頁以降）
- ✓ オンライン特設ページのトップページ下部にアンケートフォームのボタンを埋め込むことで、会場参加者をオンライン特設ページに誘導するきっかけとした。

会場内案内チラシ↓

**アンケートに答えてエコマネーをもらおう!**

1. 検定体験プログラムの特設ページにアクセスしてね
2. 画面下のアンケート回答ボタンを押してアンケートに答えよう
3. 案内所で回答完了画面を見せるとエコマネー1枚プレゼント!

検定試験体験プログラム  
オンライン特設ページ↓

スマホのカメラを  
がざしてください

① ↓にスクロール

日本数学検定協会  
日本情報処理検定協会  
「こころ検定」  
アンケート回答はこちら

② ここをタップ↑

③ アンケートに回答

「検定試験体験プログラム」来場者アンケート

④ この画面を見せる

「検定試験体験プログラム」来場者アンケート

# 7. 参加者アンケート結果

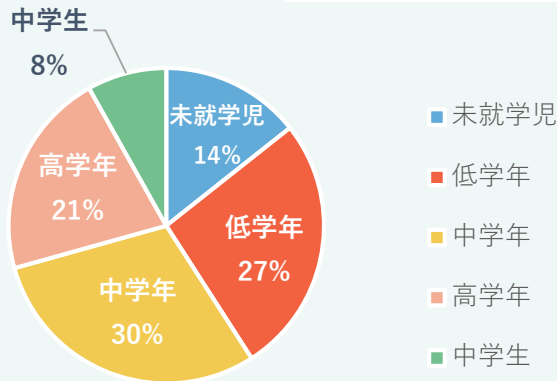
対象：来場した子どもの引率者

回答者数：363人（8月2日 136人、8月3日 227人）

## 来場した子どもの年齢

N=363 選択式、複数回答可  
注：割合は子どもの合計人数から算出

7歳～12歳の小学生の割合が78%で最も多かった。全体的な構成比率は例年とほぼ変わらない。中学生の割合が前回と比較して3ポイント増加した。

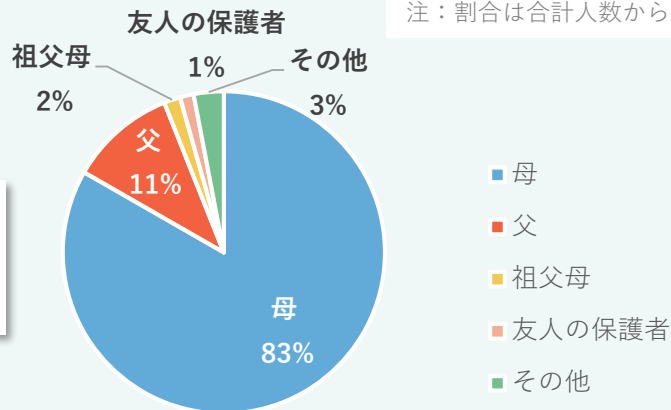


	未就学児	低学年	中学年	高学年	中学生	合計
人数	67	124	139	99	38	467
割合	14%	27%	30%	21%	8%	100%

## 引率者の属性

N=363  
注：割合は合計人数から算出

引率者は例年同様「母」が一番多く83%、「父」は11%だった。

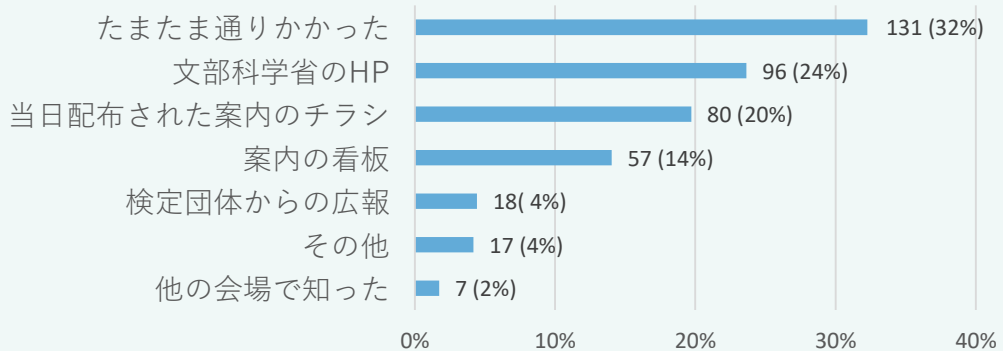


	母	父	祖父母	友人の保護者	その他	合計
人数	302	39	6	5	11	363
割合	83%	11%	2%	1%	3%	100%

# 7. 参加者アンケート結果

## 1. このプログラムを何で知りましたか

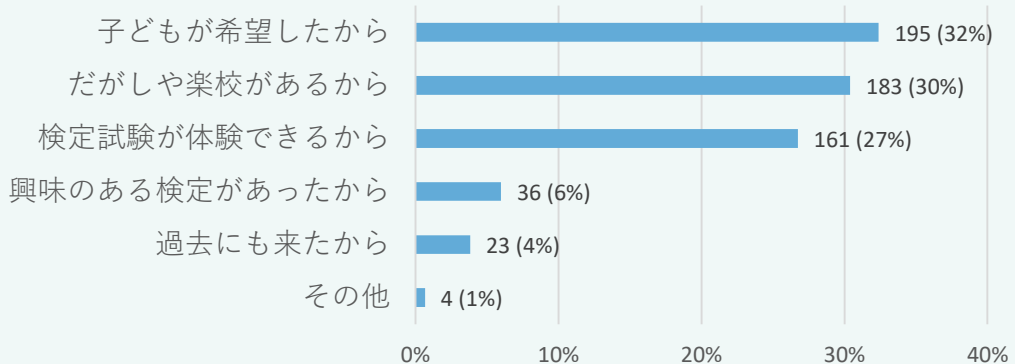
N=363 選択式, 複数回答可  
注: データラベル (回答数; 割合)  
なお割合は回答の合計から算出



前回2019年と比較した際、「たまたま通りかかった」が、21%から32%に増加し、最も高い割合となった。前回31%で最も高い割合だった「文部科学省のHP」が7ポイント減少し24%となった。次いで「当日配布された案内のチラシ」(29%)と「案内の看板」(14%)だった。その他は「ネットで検索した」「知人の紹介」などだった。

## 2. ご来場いただいた理由

N=363 選択式, 複数回答可  
注: データラベル (回答数; 割合)  
なお割合は回答の合計から算出

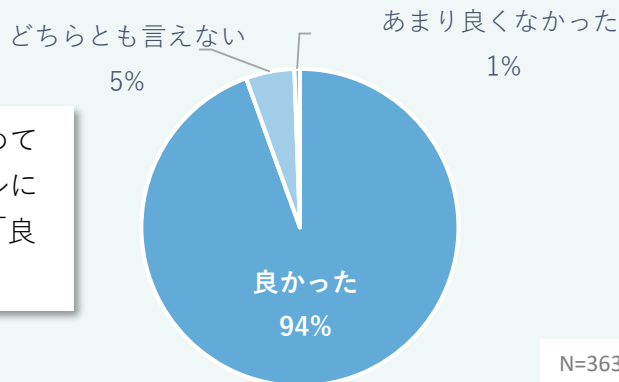


来場の理由については、前回2019年と同様「子どもが希望したから」が32%で最も高かった。次いで「だがしや楽校があるから」(30%)、「検定試験が体験できるから」(27%)、「興味のある検定があったから」(6%)であった。「過去にも来たから」が23件で4%だった。

## 7. 参加者アンケート結果

### 3. 体験が終わるとシールがもらえる仕組みについて、 どのように感じになりましたか？

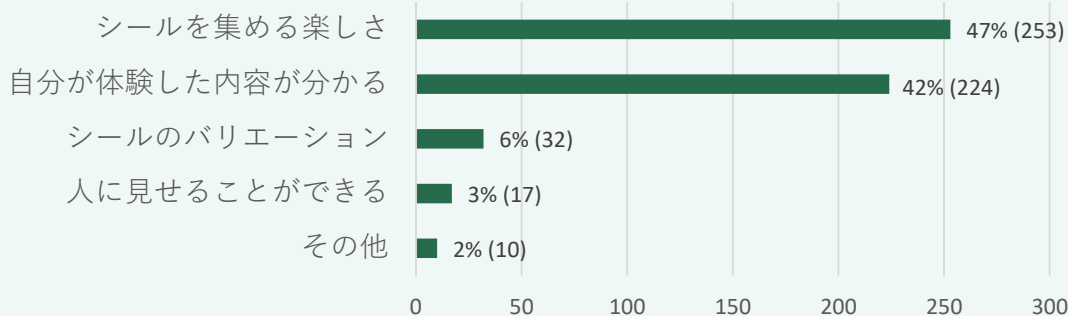
今回のプログラムで初めて導入した体験修了シールについては、94%の人が「良かった」と回答した。



	良かった	どちらとも言えない	あまり良くなかった	合計
人数	343	18	2	363
割合	94%	5%	1%	100%

### 4. 3. で良かったと回答した理由

N=343 選択式、複数回答可  
注：データラベル（割合、回答数）  
なお割合は回答の合計から算出



体験が終わるとシールがもらえる仕組みについて、良かったと回答した人にその理由を尋ねたところ、「シールを集める楽しさ」が47%で最も多く、次いで「自分が体験した内容が分かるから」が42%と、上位2つの選択肢が主な割合を占めた。

「その他」の回答には、「エコマネーに変えられる」「子ども自身が会場にある体験が一目でわかる」などがあった。

## 7. 参加者アンケート結果

### 5. プログラム全体を通して、お気づきになられたことなどがありましたら、ご記入ください。

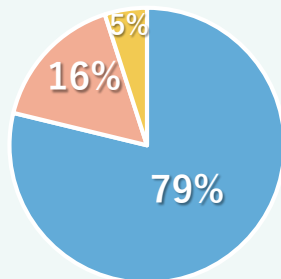
(自由記述、類似回答をまとめて、回答数で表示)

ご意見要約	回答数
とても楽しかった、面白かった。	23
いろんな検定があることを知ることができた。	14
いろんな検定を体験することができた。	13
子どもの興味関心が広がり、意欲向上につながった。	8
お菓子があってよかった。	6
待ち時間が長かった。	6
プログラムの仕組みがよかった。	5
もっとたくさん体験したかった。	5
もっと会場を広くしてほしい。	4
回転が早く、スムーズに体験できた。	3
イベント情報をもっと早く知りたかった。	3
小さい子から大人まで楽しむことができた。	2

### 6. 今後、検定体験など、お子さんがなにかを体験した証がスマホのアプリやウェブ上で、いつでも見られるような仕組みがあれば利用してみたいと思いますか？

N=363

注：割合は合計人数から算出



- 1. 利用してみたい(させたい)
- 2. どちらとも言えない
- 3. 利用しないと思う

	利用してみたい (させたい)	どちらとも言えない	利用しないと思う	合計
人数	286	59	18	363
割合	79%	16%	5%	100%

特定非営利活動法人

# 全国検定振興機構

〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-13 アーバンネット内幸町ビル3階  
TEL : 03-3539-3821 FAX : 03-3539-3822 Mail : [info@zenken.or.jp](mailto:info@zenken.or.jp)